

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科第1科	夜・通信	9単位	9単位	
		夜・通信			
医療専門課程	看護学科第2科	夜・通信	6単位	6単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/teacher_list.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://kyoju.ac.jp/financial/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	一般社団法人巨樹の会 代表理事	令和2年4月1日～ 令和6年3月31日	産学連携における 指導、調整及び組織 運営体制のチェッ ク
非常勤	医療法人社団東京巨樹 の会 理事長	令和2年4月1日～ 令和6年3月31日	学校運営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1月中旬頃、外部講師へ次年度シラバスの内容を発送。第1科・第2科のシラバス担当教員が、外部講師から戻ってきた内容と本校で検討した内容を集約し、4月の新学期開始とともに新入生へ配布を行う。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>第1科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/1ka_syllabus.PDF 第2科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/2ka_syllabus.PDF</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の評価は、試験の点数を優(80点以上)、良(70点～79点)、可(60点～69点)、不可(60点未満)で判定し、可以上を合格とする。なお、科目によっては出席時間、授業中の態度などを考慮することができる。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全科目の平均点を算出後、「90～100点」「80～89点」「70～79点」「60～69点」「50～59点」「～49点」の6段階の指標で分けることにより、成績の分布状況把握を行い、下位4分の1に該当する人数及び指標の数値を算出する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/shihyou.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校で履修すべき科目の全てにおいて単位修得の認定を受けた者については、学校運営会議において学校長が認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/nintei_graduate.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kyoju.ac.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://kyoju.ac.jp/financial/
財産目録	https://kyoju.ac.jp/financial/
事業報告書	https://kyoju.ac.jp/financial/
監事による監査報告（書）	https://kyoju.ac.jp/financial/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療		医療専門課程	看護学科第1科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼	97単位	74単位	単位	23単位	単位	単位	97単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150人		152人	0人	10	75人	85人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 看護師免許（国家資格）取得を目的とし、1、2年次は講義、3年次は実習を主としたカリキュラムとなっている。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。授業科目の評価は、優（80点以上）、良（79点～70点）、可（69点～60点）、不可（60点未満）とし、可以上を合格とする。なお、科目によっては出席時間、授業中の態度などを考慮することが出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：教育課程に基づき、各学年の科目単位を履修すること。 卒業：本校で履修すべき科目の全てにおいて単位履修の認定をうけ、学校運営会議で学校長が卒業を認定する。

学修支援等 (概要) クラス担任、教務部長による面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング等
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	1人 (2.3%)	42人 (97.7%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 社会医療法人財団池友会、一般社団法人巨樹の会及びその他の病院に就職			
(就職指導内容) クラス担任、教務部長による個別指導及び関連病院による就職説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師免許（国家資格）の取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
151人	7人	4.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康問題、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学時より専門職業人としての自覚を高めていくように研修等を行っている。また、学校生活では朝・夕のHRにおいて担任が学生の状況を確認し、学生の状況を確認し、適宜面談等を実施している。特に、連絡なく欠席する学生については、その日のうちに本人または保護者に連絡をとり、必要時面接を行うなど迅速な対応を行っている。学生、保護者との面接内容によっては、スクールカウンセラーの活用を勧めるなど対応している。 実習が進むにつれ、学業不振となり精神面での不安を訴える学生が多くなるため、実習担当教員、実習指導担当者とも連携をとりながら早めの対応ができるよう取り組んでいる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	看護学科第2科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	67単位	51単位	単位	16単位	単位	単位
			67単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
150人	146人	0人	10人	51人	61人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 看護師免許（国家資格）取得を目的とし、1、2年次は講義、3年次は実習を主としたカリキュラムとなっている。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。授業科目の評価は、優（80点以上）、良（79点～70点）、可（69点～60点）、不可（60点以下）とし、可以上を合格とする。なお、科目によっては出席時間、授業中の態度などを考慮することができる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：教育課程に基づき、各学年の科目単位を履修すること。 卒業：本校で履修すべき科目の全てにおいて単位履修の認定を受け、学校運営会議で学校長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要） クラス担任、教務部長による面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	1人 (2.4%)	40人 (97.6%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 社会医療法人財団池友会、一般社団法人巨樹の会及びその他の病院に就職。			
（就職指導内容） クラス担任、教務部長による個別指導。関連病院による就職説明会の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師免許（国家資格）の取得。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
143 人	6 人	4.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康問題、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学時より専門職業人としての自覚を高めていくように研修等を行っている。また、学校生活では朝・夕の HR において担任が学生の状況を確認し、学生の状況を確認し、適宜面談等を実施している。特に、連絡なく欠席する学生については、その日のうちに本人または保護者に連絡をとり、必要時面接を行うなど迅速な対応を行っている。学生、保護者との面接内容によっては、スクールカウンセラーの活用を勧めるなど対応している。 実習が進むにつれ、学業不振となり精神面での不安を訴える学生が多くなるため、実習担当教員、実習指導担当者とも連携をとりながら早めの対応ができるように取り組んでいる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
第 1 科	250,000 円	900,000 円	310,000 円	実習費、教科書代、 実習ユニフォーム代
第 2 科	250,000 円	480,000 円	220,000 円	実習費、教科書代、 実習ユニフォーム代
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
家族入学優遇制度 教育訓練給付金制度 (第 2 科 夜間定時制のみ)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 第1科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/H30_1ka_hyouka.pdf 第2科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/H30_2ka_hyouka.pdf
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 【主な評価項目】 学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集など 【評価委員会の構成】 5名(専門家等評価委員、企業等委員、高校等評価委員、卒業生委員、地域委員) 【学校評価実施責任者】 副学校長 淀川 めぐみ 【学校関係者評価結果の活用状況】 <ul style="list-style-type: none">・実践力を養うための教育方法として、シミュレーターやe-ラーニング、ルーブリック評価の活用など様々な取り組みをしている。教育方法の評価を行い、組織全体の取り組みとしていくのか考えていく必要があると意見をいただいた。また、授業評価については教員個々に任されており、学生へのフィードバックが曖昧である、という指摘をいただいた。評価については、第1科の目標にあげ全教員が取り組み、学生へのフィードバックについて検討し、随時実施していく。・退学者減少に向けての対応、在校生との交流の企画を評価していただいている。学生個々の状況に合わせて学びを支援していくための対策について検討し、随時実施していく。・教員の研修参加や講師としての活動は業績になると評価していただいている。引き続き学会や研修への参加や専任教員養成講習会、実習指導者会講習会、高等学校での職業教育を担当していく。・管理面として緊急時の連絡体制、SNS教育、ハラスメントの投書箱について確認された。マニュアルの整備、環境づくりなど取り組んでいく。災害時の学校・学生の役割も検討のうえ、随時実施していく。・在校生、卒業生の社会的活動を知ることが不十分であると指摘を受けた。学生理解・指導につながっていくので、入学時に把握していく。卒業生の活躍についての全体調査は難しいが、就職先の協力を得て情報を得ていく。ボランティアについては実習病院と随時連携していく。 【評価結果の活用方法について】 <p>9月に開催する学校関係者評価委員会では、前年度の取り組みに対する評価内容を踏まえたその年度4月からの目標・計画を報告し、教育実践をはじめとする学校運営について自己評価(中間評価)した内容を説明する。委員より実施内容、評価に対して意見を伺う。いただいた意見の中で年度中に取り組める内容は後期からの取り組みに反映させている。</p> <p>3月に開催する学校関係者評価委員会では、その年度の取り組みについて、その実際と最終的な自己評価内容を委員に説明・報告を行う。その後、委員より自己評価が適切であるか否か妥当性を踏まえ最終評価をしていただく。その最終評価を教員全体で共有したのち、学校評価責任者を中心として改善策を策定し、次年度の取り組みに具体的に反映させることで、「教育活動」「学修成果」「学生支援」「教育環境」等の更なる改善に努めている。</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
純真学園大学（元）	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	専門家等評価委員
福岡和白病院	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業等委員
福岡県立須恵高等学校	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	高校等評価委員
福岡県済生会二日市病院	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生委員
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 第1科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/H30_1ka_hyouka.pdf 第2科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/H30_2ka_hyouka.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.fukuoka-kango.jp/
--